

2013年度版

環境報告書

(2013年4月~2014年3月のまとめ)

とちぎコープ生活協同組合

理念

CO-OP ともしはぐくむくらしと未来

私たちは、一人ひとりが手を取りあって、
一つひとつのくらしの願いを実現します。
私たちは、ものと心の豊かさが調和し、
安心してくらせるまちづくりに貢献します。
私たちは、人と自然が共生する社会と
平和な未来を追求します。

環境方針

北関東三生協（いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま）は、「環境に配慮したくらし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指して、コープネットグループの共通の理念とビジョンのもと、店舗・宅配における商品の供給及び取り扱う商品・サービスのあらゆる面で地球環境に配慮して行動します。

事業活動を通じ環境負荷を低減する仕組みをつくり、定期的な見直しと環境マネジメントシステムの継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

また、環境保全に関する法規制および北関東三生協が受け入れを決めた事項を順守します。

1. 地球温暖化防止につながるCO₂削減に取り組みます。
2. 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
3. 組合員とともに環境活動に取り組みます。

2010年8月31日 制定
いばらきコープ生活協同組合
専務理事 鶴長 義二

とちぎコープ生活協同組合
専務理事 福田 雅彦

生活協同組合コープぐんま
専務理事 梅澤 義夫

2013年度とちぎコープ目的目標

(2013.5.22)

【環境方針1】 地球温暖化につながるCO2の削減に取り組みます。			
中期的な目的目標			
目的	年度	計画数値 (基準年比)	
全体のCO2総排出量を削減します。基準年2005年実績 5313t 係数0.423	2013年度	5113t (3.8%削減)	
	2014年度	5213t (1.9%削減)	
	2015年度	5313t (基準年維持)	
目標1	年度	計画数値	主要な達成手段
電気使用量を削減します。電気の使用量を(前年比101.2%)以内におさえる。 2012年実績 8,489,046kwh	2013年度	全体101.2%以内 (目標値8,586,782kwh) 宅配 101.3%以内 (2,241,288kwh) 店舗SM 101.3%以内 (5,273,690kwh) 店舗ミニ 現状維持 (924,511kwh) 本部 現状維持 (147,294kwh)	栃木店改装 小山Cガスヒートポンプ更新 適切なエアコン設定温度の管理と不要な照明の消灯などの運用管理継続
	2014年度	100.0%以内 (目標値8,489,046kwh)	運用管理継続 省エネ機器導入検討
	2015年度	99.0%以内 (目標値8,404,155kwh)	運用管理継続 省エネ機器追加導入
目標2	年度	計画数値	主要な達成手段
宅配センターの配送車両の燃料を削減します。自前軽油の使用量を(124.9%)以内におさえる。 12年126,440ℓ	2013年度	124.9%以内 目標値(157,916ℓ)	エコドライブ推進 配送効率向上 BDF車両減少
	2014年度	135.0%以内 目標値(170,694ℓ)	エコドライブ推進 配送効率向上
	2015年度	145.0%以内 目標値(183,338ℓ)	エコドライブ推進 配送効率向上
2013年度目標			
目標1	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門
電気の使用量を(101.2%)以内におさえる 宅配 101.3%以内 店舗SM 101.3%以内 店舗ミニ 100.0%以内 本部 100.0%以内	栃木店改装 小山Cガスヒートポンプ更新 適切なエアコン設定温度の管理と不要な照明の消灯などの運用管理継続	環境管理責任者補佐 各部門	管理部、総企、コープデリ宅配事業部、SM事業支援、ミニコープ支援
目標2	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門
自前軽油の使用量を(124.9%)以内におさえる	エコドライブ、ポイント間走行距離削減	環境管理責任者補佐 コープデリ宅配事業部長	・ポイント間走行距離前年比1%削減 ・配送トラック燃費前年比1%向上 (以上、コープデリ宅配事業部部門目標)

※目的・目標の増減比は、12年度対比です。(方針1のCO2排出量削減のみ、05年対比)

【環境方針2】 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。			
中期的な目的目標			
目的	年度	到達状況、	
事業系一般ゴミの削減をします。	2013年度	全体 3.1%削減	
	2014年度	全体 4.0%削減	
	2015年度	全体 5.0%削減	
目標1	年度	計画数値	主要な達成手段
事業系一般ゴミの削減をします。	2013年度	全体 3.1%削減 (宅配 1%削減 店舗SM 1%削減 店舗ミニ 16.4%削減 本部 1%削減)	・紙ゴミの分別徹底、 ・リサイクル(紙チラシなど)、 ・店内レジ撒きチラシの発注精度アップ、
	2014年度	全体 4%削減	前年度取り組みの反映
	2015年度	全体 5%削減	前年度取り組みの反映
2013年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門
事業系一般ゴミの削減をします。 全体 3.1%削減	・紙ゴミの分別徹底、・リサイクル(紙チラシなど)、・店内レジ撒きチラシの発注精度アップ、	管理部統括 事業統括 デリ宅配部長 総企統括	管理部、総企、デリ事業部、SM事業支援、ミニコープ支援、

【環境方針3】 組合員とともに環境活動を取り組みます。			
中期的な目的目標			
目的	年度	計画数値	
環境保全活動への参加者を増やします。	2013年度	10%増加(2,200人)	
	2014年度	20%増加(2,400人)	
	2015年度	30%増加(2,600人)	
目標	年度	計画数値	主要な達成手段
環境保全活動への参加者を増やします。	2013年度	10%増加 参加者目標(2,200人)	・「コープみんなでエコ!今こそ節電!!」の取り組み、・生産者交流(土の会、あぜ道)他
	2014年度	20%増加(2,400人)	前年度取り組みの反映
	2015年度	30%増加(2,600人)	前年度取り組みの反映
2013年度目標			
目標	主要な達成手段	実施責任者	関連する部門
環境保全活動への参加者を増やします。 10%増加 参加者目標(2,200人)	「コープみんなでエコ!今こそ節電!!」の取り組み、・生産者交流(土の会、あぜ道)エコもりフェア、エコテックとちぎ等外部イベント	総合企画室統括 執行役員	総合企画室

※目的・目標の増減比は、12年度対比です。(方針1のCO2排出量削減のみ、05年対比)

環境方針（1）

とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出の削減。

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、人類の生存に関わる問題とされています。とちぎコープは、日本生協連の呼びかけのもとコープネット事業連合とともに「温暖化防止自主行動計画」を作成し、二酸化炭素の排出量の削減に取り組んでいます。

とちぎコープの事業活動における二酸化炭素の排出は、電気使用由来によるもの（約72%）と車両燃料由来によるもの（約26%）とで、ほとんどを占める構成となっています。2013年度は、この2項目を環境目標に設定して取り組みました。

電気の使用量はSM店で昨年のおもちゃのまち店に続き栃木店でも改装を行い、省エネタイプの冷蔵庫に更新したため電気の使用量は減少しました。車両燃料は夕食宅配やデリ配のコース増加などで増加しました。その結果CO2排出量は昨年より7トン増え4,892トンとなりましたが、計画比では95.7%と達成することができました。

【目的】2013年度のとちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を2005年度から200トン削減します。

【2013年度目標】とちぎコープの事業活動に伴う二酸化炭素排出を 5,113トン以下にします。

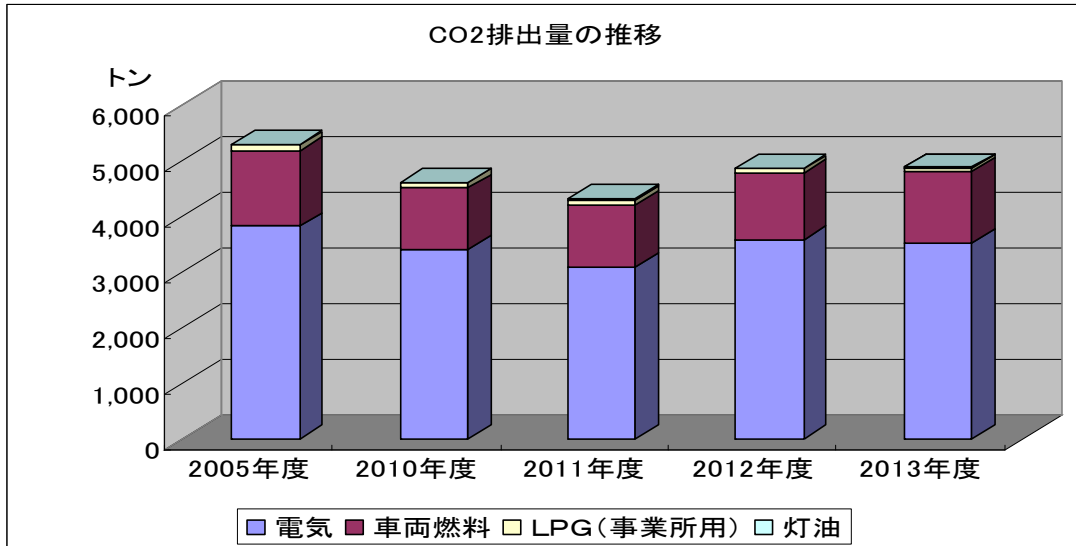
【個別目標1】電気使用由来の二酸化炭素排出を3,632トンにします。

【個別目標2】車両燃料由来の二酸化炭素排出を1,400トンにします。

	実績（トン）	計画（トン）	計画比	評価
全体	4,892	5,113	95.7%	○
電気	3,533	3,632	97.3%	○
車両燃料	1,288	1,400	92.0%	○
LPG	55	63	87.7%	○
灯油	17	19	89.6%	○

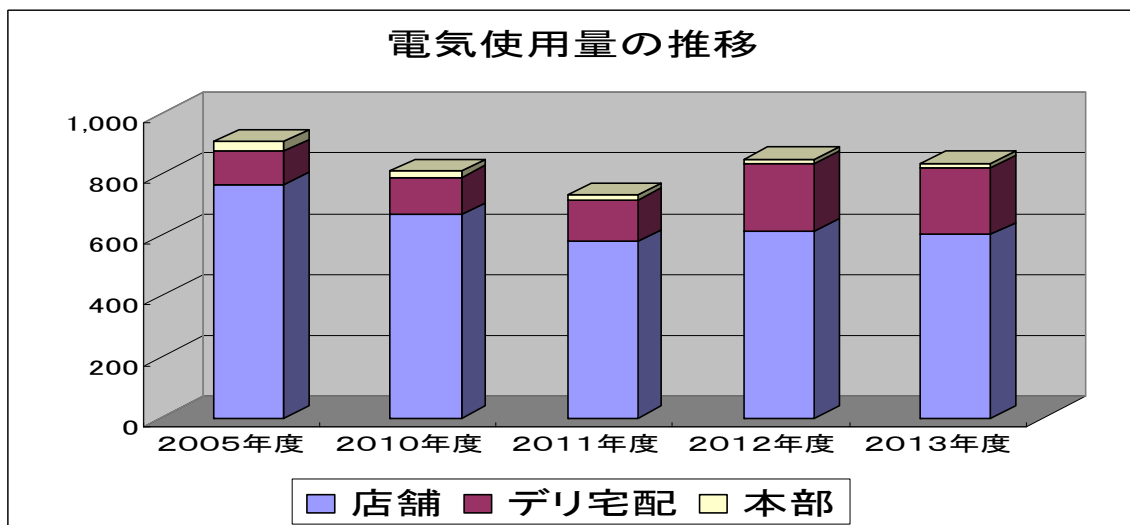
○ 基準年2005年度からの推移 CO2（トン） 電気のCO2排出係数0.423kg/kwh

主要な排出項目	2005年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
電気	3,833	3,425	3,089	3,591	3,533
車両燃料	1,365	1,095	1,131	1,197	1,288
LPG（事業所用）	97	93	84	78	55
灯油	17	17	19	19	17
合計	5,313	4,630	4,324	4,885	4,892



○ 電気使用量の推移

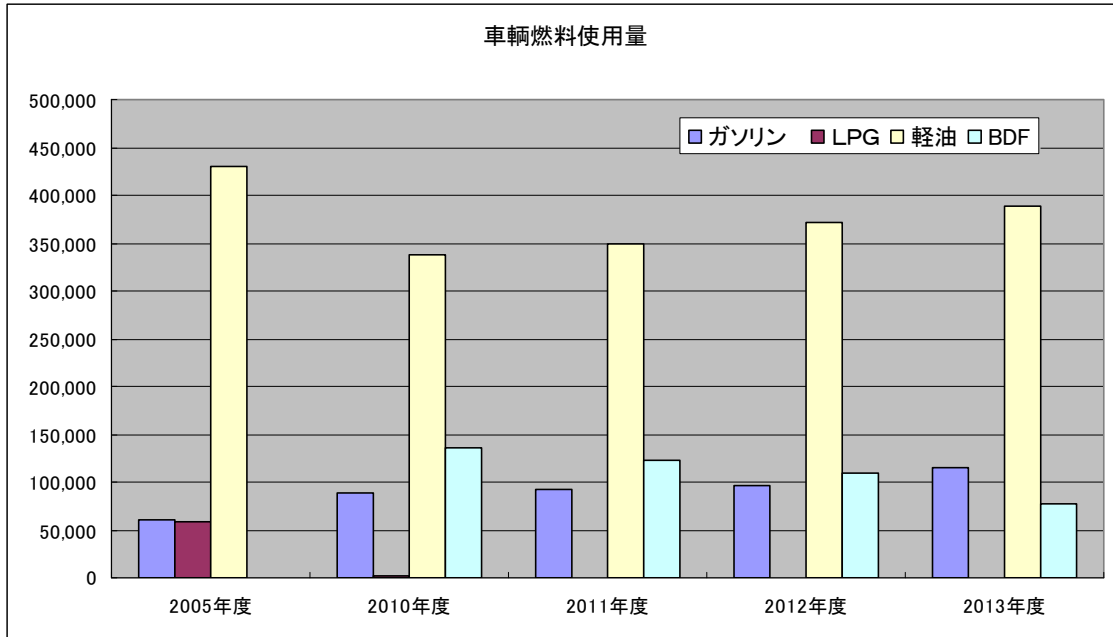
単位 k w h	2005年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
店舗	7,669,956	6,668,285	5,793,745	6,128,652	6,008,186
デリ宅配	1,072,422	1,219,730	1,351,668	2,213,100	2,208,280
本部	319,449	210,026	157,003	147,294	135,218



店舗、デリ宅配および本部すべてで昨年を下回っています。

○ 車両燃料の使用量推移 単位 L

燃料種別	2005年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
ガソリン	59,568	88,909	91,972	96,053	115,896
L P G	59,364	2,530	0	0	0
軽油	429,510	337,186	349,659	371,027	388,132
BDF	0	135,800	122,356	108,537	78,224



車輛燃料の大部分は配送トラックで使用します。デリ宅配全体では、計画比 91.8% (前年比 108.2%) の実績で年間目標を達成しました。夕食宅配の拡大やコース増、またバイオディーゼル燃料は新型車両で不具合が発生する可能性があるため車両入れ替えなどでバイオディーゼル燃料を使用する車両が減って、経路の使用量が増えています。またエコドライブの実践、地図システムを活用し配送コースの効率向上等で、燃費の向上に努めています。バイオディーゼル燃料を使用する車両は38台となっています。

とちぎコープの二酸化炭素排出量の推移

単位(トン)

年度	店舗		コープデリ宅配		全体	
	CO2 排出量	2005 年度比	CO2 排出量	2005 年度比	CO2 排出量	2005 年度比
2005	3,293	100.0%	1,795	100.0%	5,313	100.0%
2010	2,860	86.8%	1,671	93.1%	4,630	87.1%
2011	2,490	75.6%	1,740	96.9%	4,324	81.4%
2012	2,632	79.9%	2,153	119.9%	4,885	91.9%
2013	2,581	78.4%	2,212	123.2%	4,892	92.1%

2013年度から電気によるCO2排出量は2005年度の電気事業連合のCO2排出係数を使用することにしました。

環境方針（２） 廃棄物の削減と再資源化

【目的】 廃棄物の削減と再資源化を進めます。

【２０１３年度目標】 事業系一般廃棄物を前年比３．１％減らします。

※（宅配９９．０％、SM９９．０％、ミニ ８３．６％、本部９９．０％）

	実績 (Kg)	計画 (kg)	計画比	評価
全体	142,170	154,380	92.1%	○
宅配	31,391	32,977	95.2%	○
SM	95,710	99,330	96.4%	○
ミニ	13,778	20,624	66.8%	○
本部	1,290	1,450	89.0%	○

事業系一般廃棄物の削減計画は全業態すべて達成しました。

２０１４年１月に栃木市のレジ袋削減協定を締結し、コープ栃木店では２月からレジ袋の無料配布を中止しました。とちぎコープではすべての店舗でレジ袋を有料とし、使用量の削減に努めています。マイバッグ等の持参率はミニコープが９６．５％、スーパーマーケットでは、８２．２％となりました。レジ袋の代金の一部はNPO法人足尾に緑を育てる会に植樹の苗木代として寄付しています。２０１３年度分として７９万円余を寄付しました。

環境方針（３） 組合員とともに環境活動を取り組みます

【目的】 環境活動に参加する組合員を増やします。

【２０１３年度目標】 「コープみんなでエコ！今こそ節電！！」の取り組み・生産者交流会等に参加する組合員数を２，２００人以上にする。

２０１３年度は新たな取り組みとして「うちエコ診断」の受診を呼びかけました。「うちエコ診断」は診断員が各家庭のCO2排出量を診断し、上手に減らすための対策を提案する環境省の補助事業です。組合員さんと職員を併せて１２５名の参加者がありました。とちぎ発エコチャレンジは２７２名でした。また、生産者交流会（６３８名）、エコもりフェア（１５８名）、エコテックとちぎ（４００名）の参加者がありました。１日エコライフチェックは今年度は中止しました。その結果合計で１５９３名となり計画にはとどきませんでした。

その他の主要パフォーマンス項目の進捗状況

**環境に配慮した商品の取り扱いの拡大、
情報提供の強化、ご利用の拡大を推進します。**

組合員のみなさんに、積極的に環境に配慮した商品を提供すること、及び、それらの商品や環境に関する情報を提供することなどを、とちぎコープの事業活動において、環境に有益な影響を及ぼす課題として取り組みをすすめました。2013年度のパフォーマンス項目の達成状況は下記のとおりです。

【環境配慮商品の普及】

	当年度	前年度	前年度比	増減
点数（点）	464,629	493,343	94.2%	↓
金額（千円）	233,259	226,829	102.8%	↑

対象商品：①日生協「環境配慮商品」（環境に配慮した食品含む）、②日生協「ちょこっとエコ商品」、③エコマーク商品、④グリーンマーク商品、⑤再生紙Rマーク商品、⑥PETボトルリサイクル推進協議会マーク、⑦飲料品紙容器マーク商品、⑧JAS有機農産物表示と特別栽培農産物に関わる表示ガイドラインに基づき生産された農産物、⑨上記以外の環境配慮商品（コープネット環境配慮商品、無洗米などでコープネットで認定したもの）

**組合員さん参加のリサイクル活動、及び事業から排出する
廃棄物の発生抑制とリサイクル活動を推進します。**

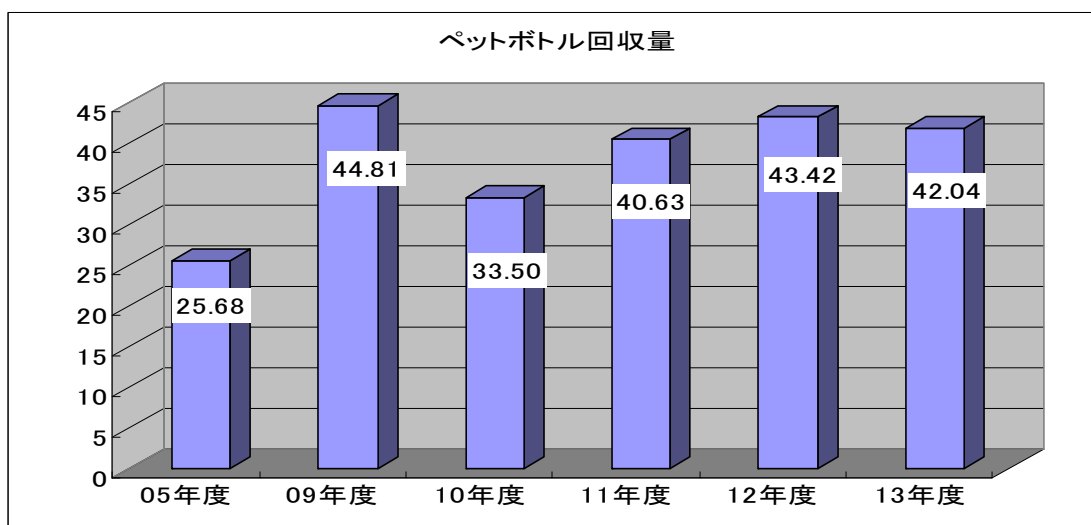
従来から取り組んでいる組合員さんに協力いただいているリサイクル品については、適宜回収ルールを含めた情報提供を行い、継続してリサイクル活動に取り組ましました。

リサイクル品は各センター・店舗に商品を配送するトラックの戻り便を利用して千葉県野田市のコープネット・エコセンターに集めます。エコセンターでは圧縮減容して業者に資源物として売却しています。

【組合員さん参加のリサイクル】

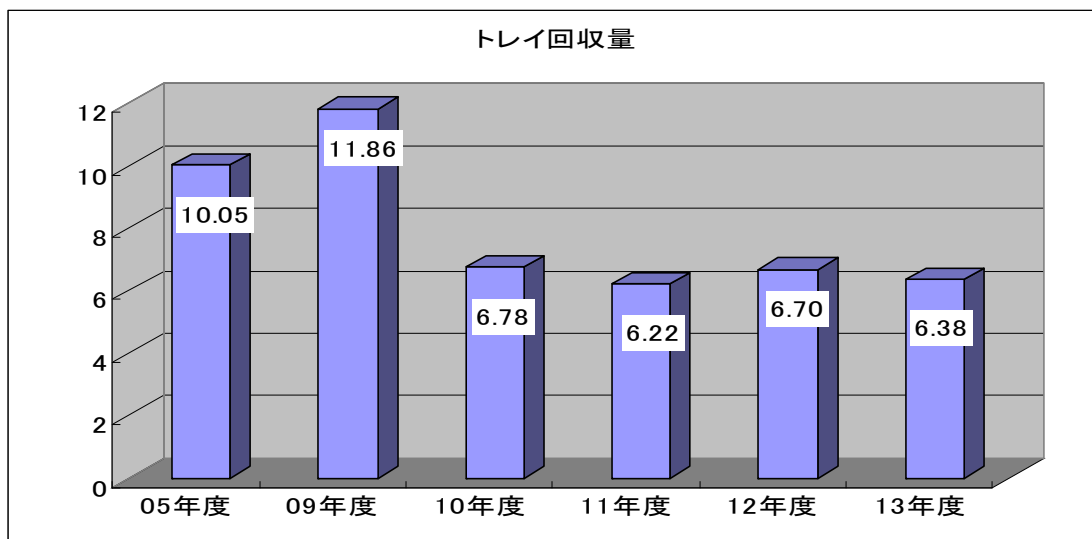
項目	当年度 (kg)	前年度 (kg)	前年度比	評価
ペットボトル	42,039	43,421	96.8%	↓
トレイ	6,381	6,695	95.3%	↓
資源紙	1,748,011	1,605,644	108.9%	↑
紙パック	61,691	65,089	94.8%	↓
アルミ缶	5,627	5,873	95.8%	↓
卵パック	7,704	7,068	109.0%	↑
シッパ内袋	31,940	27,771	115.0%	↑

● ペットボトル



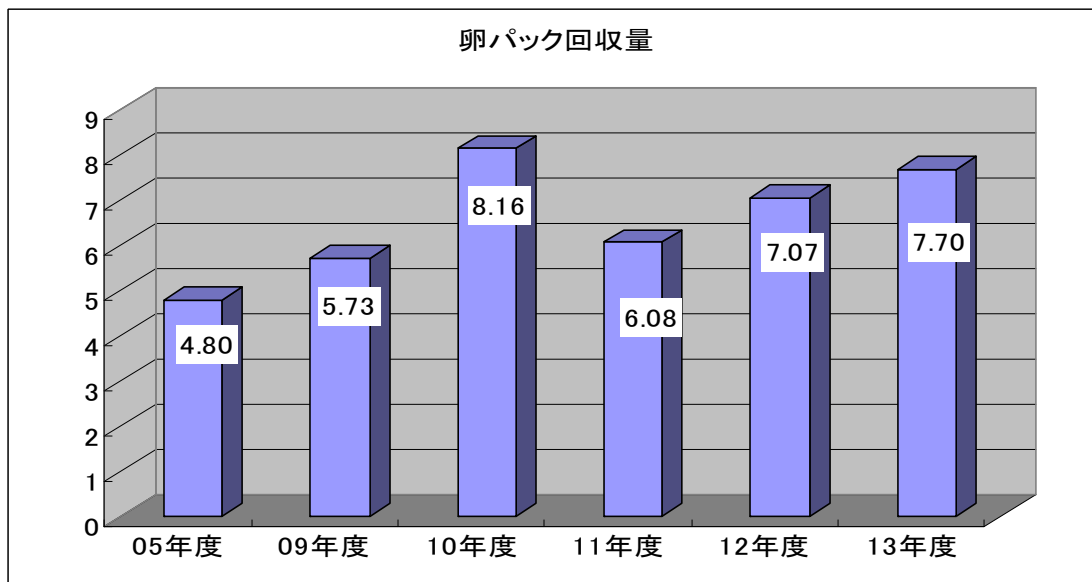
エプロンや軍手などの繊維製品に生まれ変わります。とちぎコープのすべての店舗、デリ宅配センターで回収しています。

● トレイ



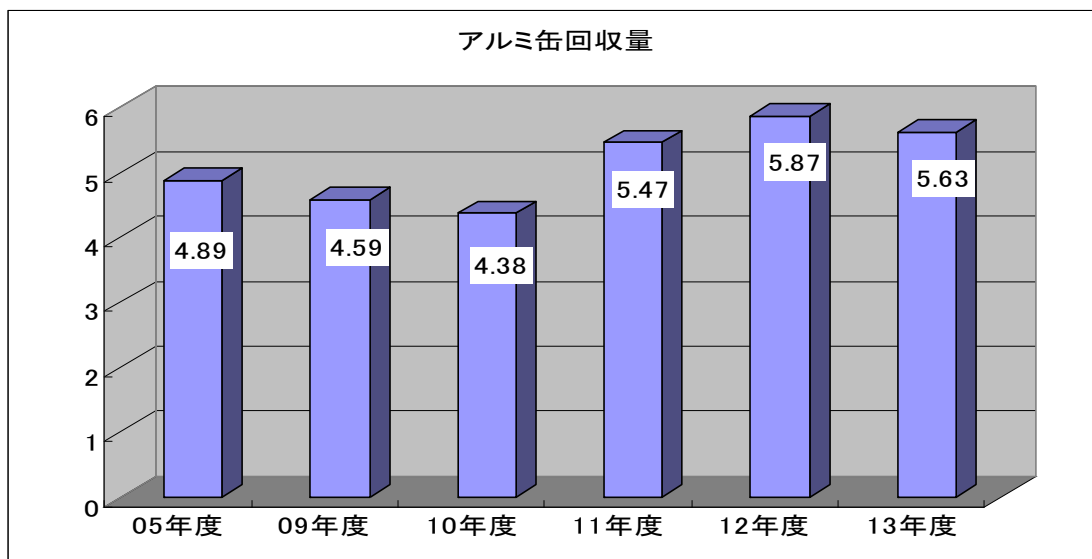
エコベンチ、テーブルの芯材、文房具などになります。発泡トレイに限りとちぎコープのすべての店舗、デリ宅配センターで回収しています。非発泡のトレイ（ようじが刺さらないもの、透明・半透明素材のトレイ、カップ麺・納豆の容器などは回収できません。

● 卵パック



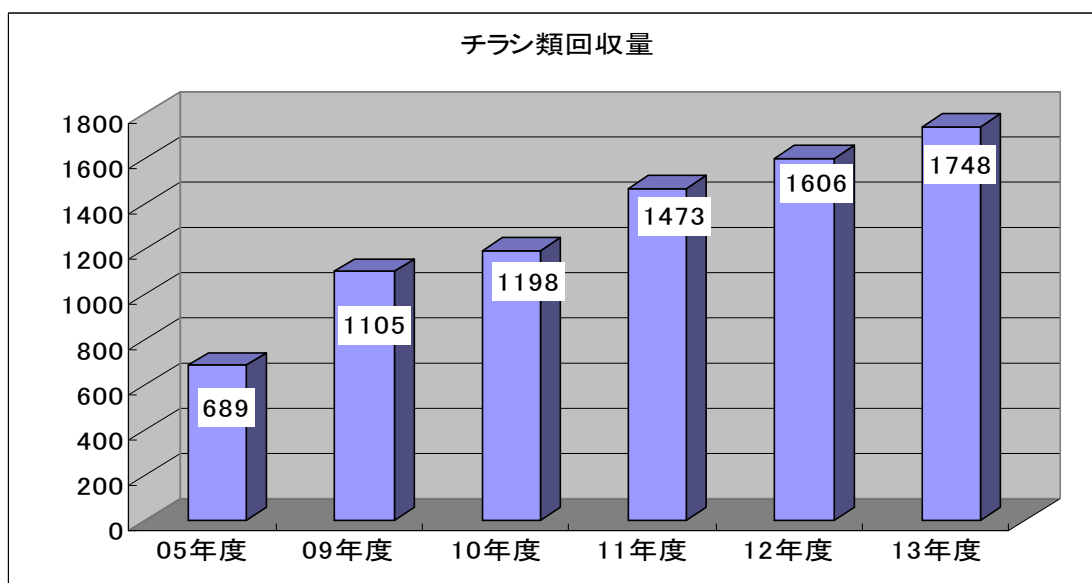
Aペットシート（再生原料）になって、たまごパックなどになります。とちぎコープのすべての店舗、デリ宅配センターで回収しています。素材の違うものが混入するとリサイクルできなくなります。コープで販売したたまごパックに限ります。

● アルミ缶



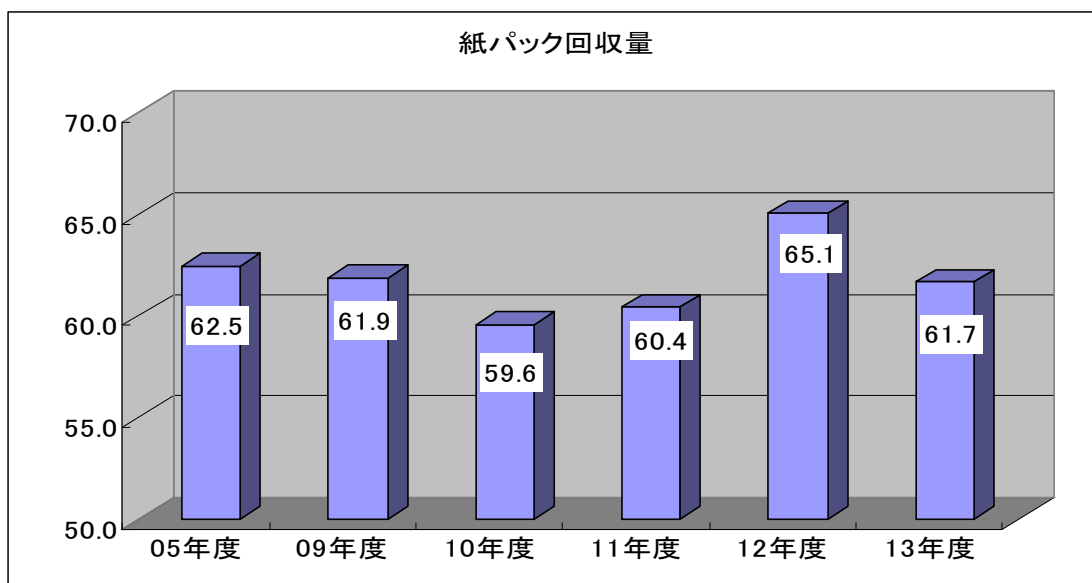
アルミ缶は、スーパーマーケット全4店舗で回収し、県内2ヶ所の共同作業所に引き取っていただいています。共同作業所では、再度分別を徹底して、アルミの再生原料として企業に買い取ってもらい、活動資金の一部として役立てています。一部ミニコープでも回収を始めました。

● チラシ類



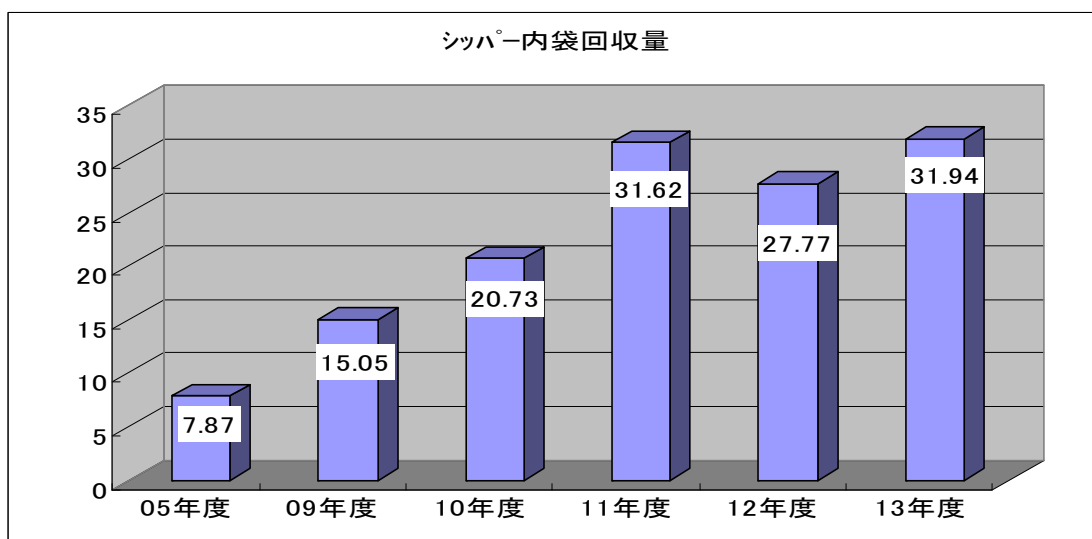
資源紙の回収の対象は、とちぎコープで配付する商品のカタログ類です。コープデリで毎週配布されるカタログが多いという声をいただいています。年々回収量は増加しています。個人情報を含む紙類については、個人情報の漏えい防止に十分に配慮してリサイクルを行なっています。デリ宅配センターで回収しています。店頭では回収しておりません。

● 紙パック



紙パックは、牛乳やコーヒー・紅茶、ジュース類などの飲料（酒類の紙容器でアルミ使用も可）の紙製のパックを対象に、とちぎコープの全店舗、及び、コープデリ宅配センターで回収しています。ABパックについても、2009年度から開始しました。未晒し（茶色い紙）のパックについては回収していません。トイレットペーパーやティッシュペーパーに再生されます。

● シッパー内袋



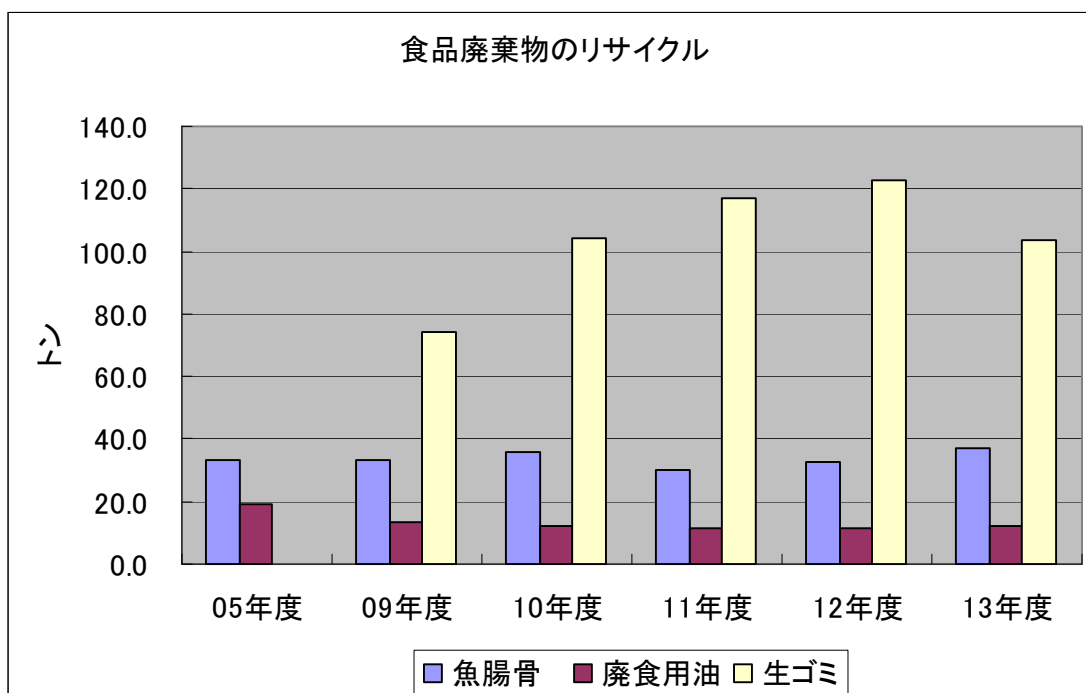
シッパー内袋（共同購入で使用されている、発泡スチロール製の通い箱の中で商品を入れるために使用しているポリエチレン製の袋）は、商品の配送時に回収しています。ビニール袋（ポリ袋）などに再生されています。

【事業活動での廃棄物のリサイクル】

事業活動において使用するダンボール箱や発泡スチロールの魚箱、また店舗から排出される「魚のあら」や惣菜部門の廃棄食用油、農産部門の生ゴミもリサイクルしています。

魚のあら（魚腸骨）は排出される全量が家畜や養殖魚の飼料になります。廃棄食用油はBDF燃料に加工し、とちぎコープのデリ宅配の配送トラックの燃料にしています。生ごみはリサイクルされてたい肥になります。そのたい肥を使って育てた野菜やくだものは店舗の地場野菜コーナーで販売し、食品リサイクルループを形成しています。

単位:トン	05年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度
魚腸骨	33.2	33.5	35.5	30.0	32.7	37.0
廃食用油	19.4	13.2	12.3	11.7	11.7	12.4
生ゴミ	-	73.9	104.5	117.0	123.1	103.4
魚箱	10.8	7.6	7.9	8.2	7.1	6.4
ダンボール	-	172.7	341.3	386.0	377.4	368.1

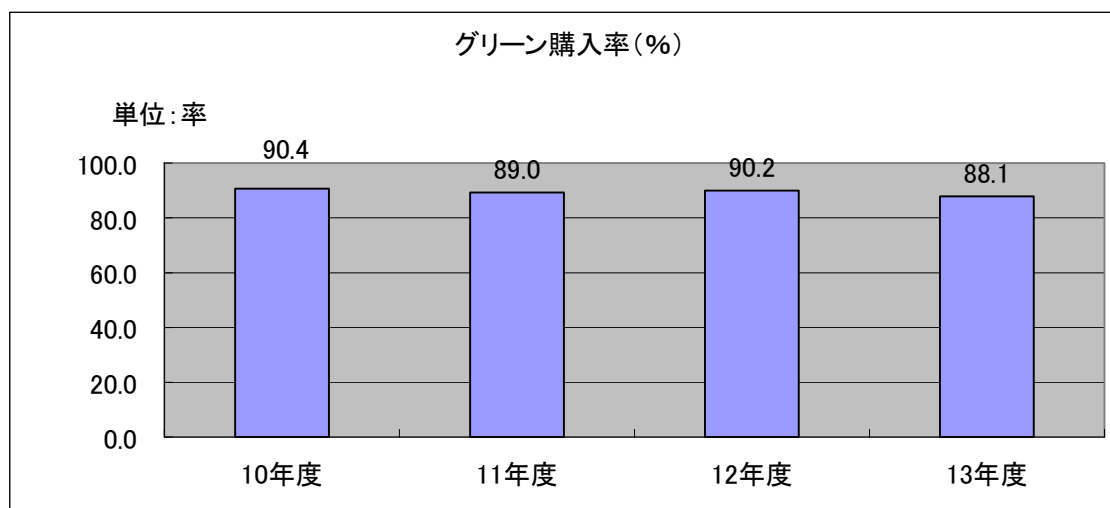


資源や資材の無駄な使用をなくし、

使用する資材は積極的にグリーン購入をすすめます。

【グリーン購入】

	2012年度	2013年度	前年比	評価
購入率	90.2%	88.1%	97.7%	↓



とちぎコープでは事務用品や文具、事務所等での消耗品を購入する場合には環境に配慮した環境ラベルなどが張ってある商品を積極的に選択するグリーン購入に努めています。グリーン商品を対象としたグリーン購入比率が90%を超える状況となったので、この状態を維持できるよう確実に運用管理していきます。

従事者の教育・訓練に関すること

とちぎコープEMSガイドブック2013年版を6月に作成し、力量評価と連動した定期教育が開始され7月度で終了をしました。

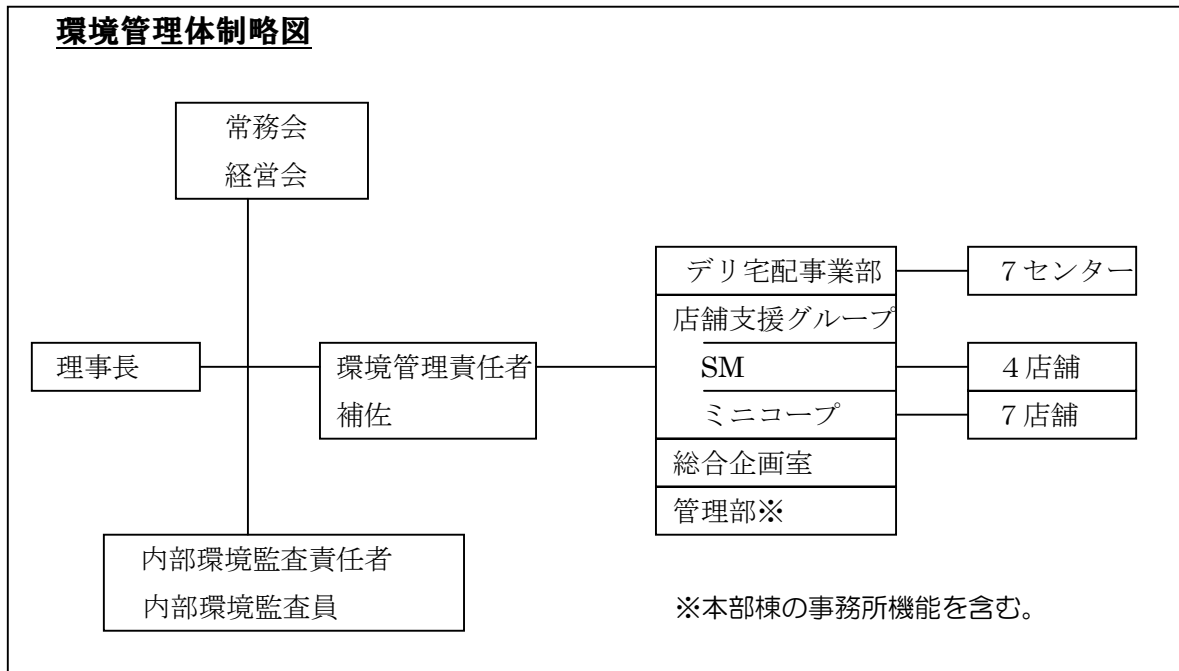


環境マネジメントシステムに関すること

環境マネジメントシステムを本来業務のシステムの一環として推進しています。環境マネジメントの運営に関わる論議は、常務会、経営会、及び各部門の機関会議の中で行っています。

【 環境管理体制 】

環境マネジメントシステムも事業経営の一部であるとの考えから、環境マネジメントの体制を業務のマネジメントの体制と一致させています。



【 コミュニケーション 】

組合員のみなさんのご意見・ご要望は、「組合員の声」担当部局が中心に管理しています。業務に関連するものはそれぞれの担当部局、環境が中心のものについては環境マネジメント事務局が対応し、回答が必要なものについてはすべて回答しています。回答については、「組合員の声」全体のデータベースの中で管理しています。

2013年度は、行政等への報告や、住民へのお知らせが必要となる重大な事故はありませんでした。

【 内部環境監査・ISO14001更新審査 】

内部環境監査

北関東三生協 EMS の統一4年目となり、昨年度に引き続き「被監査部署別監査項目一覧表」を作成し、全ての部署で、全ての実施・維持項目を監査するのではなく、サンプリングによる確実な監査を実行しました。監査員はフォローアップセミナーを受講後、チームを組んで全部門・事業所で現地監査を行ないました。また、2013年度も「内部環境監査」と「個人情報保護監査」を同時に行いました。

監査員による総指摘件数は40件（－7件）で、重大な不適合は0件（前年差±0件）、軽微な不適合が2件（－5件）、観察が12件（－8件）、推奨18件（－2件）、今年度から評価項目として追加したプラス評価が8件でした。昨年に引き続き重大な不適合はありませんでした。各指摘事項40件については各々是正処置および是正項目の有効性を確認しました。

ISO14001:2004維持審査

2003年3月に、とちぎコープとしてISO14001の認証を取得し、2009年度より北関東三生協統一マネジメントシステムの構築のための協議を進め、2010年度下期より運用を開始しました。2012年からは認証範囲を北関東三生協各本部のみ縮小し、今年度は2014年3月10日～26日に、ムーディ・インターナショナル・サーティフィケーション株式会社（UKAS認定の審査登録機関（認定番号014））の維持審査を受け、不適合は無くマネジメントシステムは十分有効であることを認められました。



【とちぎコープの概要】

(2014年3月現在)

理事長	古口 葉子
組合員数	232, 681 人
出資金	68 億 7960 万円
事業高	253億 5113 万円
職員数	正規 233 人、 定時 742人(正規換算数 384 人)

事業所

○配送センター 7ヶ所

西那須野センター(那須塩原市)

高根沢センター(高根沢町)

今市センター(日光市)

宇都宮センター(宇都宮市)

壬生センター(壬生町)

小山センター(小山市)

足利センター(足利市)

○ミニコープ 7店舗

コープ矢板(矢板市)

コープ晃望台(鹿沼市)

コープ金井台(宇都宮市)

コープ城東(小山市)

コープ野木(野木町)

コープ富岡(佐野町)

コープ利保(足利市)

※売場面積50坪タイプの小型店

○スーパーマーケット(SM店) 4店舗

コープ越戸(宇都宮市)

コープ鶴田(宇都宮市)

コープおもちゃのまち(壬生町)

コープ栃木(栃木市)

※生協直営の売場面積450坪タイプのスーパーマーケット。

○とちぎコープ本部(宇都宮市)

発行日 2014年6月18日

とちぎコープ生活協同組合

専務理事 福田 雅彦

〒321-0195 栃木県宇都宮市川田町 858

T e l (028) 634-5115 F a x (028) 634-5114